

「江別市鳥獣被害防止計画(案)」に対する市民意見公募の結果と市の考え方

令和4年2月

江別市経済部農業振興課

■意見の募集結果

募集期間	令和3年12月7日～令和4年1月6日
提出者数	1人
提出件数	1件

■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

※特記事項

パブリックコメントの内容については、提出者の意見をできるだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
1	<p>私が住む町内における鳥獣被害を挙げれば、ゴミステーションを荒らしていくカラスです。ただカラスも動物ですから、われわれ人間は共存への道を探るべきでしょう。報道では鳥獣のエサが減ってきていることが、被害をもたらすキッカケになっているといわれています。餌付けをすることは、好ましくありませんが、一箇所に集中的に鳥獣が集まらない策を市の部署(経済部農業振興課)は練るべきです。</p>	<p>ゴミステーションでの鳥獣被害につきましては、生ごみが餌となるため、カラスが密集する場所になりやすいと言われております。被害を防ぐためには、生ごみを外から見えなくする、カラス除けサークルを設置する等、カラスに餌と認識させないための対策が重要となります。</p> <p>市では「ゴミステーションのカラス被害対策」について、ホームページで情報を公開しております。引き続き普及啓発を図ってまいりますので、ゴミステーションの適正管理についてご協力をお願いいたします。</p>	E
2			
3			
4			